

令和 2 年度みえ森と緑の県民税基金事業（資料編）

目 次

① みえ森と緑の県民税基金積立金事業	2
② 災害に強い森林づくり推進事業	
ア. 災害緩衝林整備事業	3
イ. 土砂・流木緊急除去事業	3
③ 森林情報基盤整備事業	5
④ 森を育む人づくり推進事業	
ア. 森を育む人づくりサポート体制整備事業	7
イ. 森林環境教育・木育拠整備事業	9
ウ. 森林とふれあう自然公園環境整備事業	12
⑤ 生物多様性推進事業	13
⑥ みえ子ども森林・林業アカデミー自然体験事業	14
⑦ みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業	
ア. 流域防災機能強化対策事業	15
イ. 森林再生強化力対策事業	16
⑧ みえ森と緑の県民税市町交付金（防災枠）事業	
ア. 災害からライフラインを守る事前伐採事業【新規】	18
⑨ みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業	19
⑩ みえ森と緑の県民税制度運営事業	26

令和 2 年度みえ森と緑の県民税基金事業の構成

積立総額【決算額 - 円】（予算額 1,097,538,000円）

① みえ森と緑の県民税基金積立金事業【決算額 - 円】（予算額 1,097,538,000円）

取崩総額【決算額 - 円】（予算額 1,111,382,000円）

② 災害に強い森林づくり推進事業費【決算額 - 円】（予算額 380,000,000 円）

ア. 災害緩衝林整備事業【決算額 - 円】（予算額 319,993,000 円）

イ. 土砂・流木緊急除去事業【決算額 - 円】（予算額 60,007,000円）

③ 森林情報基盤整備事業【決算額 - 円】（予算額 90,243,000円）

④ 森を育む人づくり推進事業費【決算額 - 円】（予算額 95,823,000円）

ア. 森を育む人づくりサポート体制整備事業【決算額 - 円】（予算額 34,233,000円）

イ. 森林環境教育・木育拠点整備事業【決算額 - 円】（予算額 48,334,000円）

ウ. 森林とふれあう自然公園環境整備事業【決算額 - 円】（予算額 13,256,000円）

⑤ 生物多様性推進事業【決算額 - 円】（予算額 3,996,000円）

⑥ みえ子ども森林・林業アカデミー自然体験事業【決算額 - 円】（予算額 3,570,000円）

⑦ みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業

【決算額 - 円】（予算額 161,599,000円）

ア. 流域防災機能強化対策事業【新規】【決算額 - 円】（予算額 125,799,000円）

イ. 森林再生力強化対策事業【新規】【決算額 - 円】（予算額 35,800,000円）

⑧ みえ森と緑の県民税市町交付金（防災枠）事業【決算額 - 円】（予算額 10,000,000円）

⑨ みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業

【決算額 - 円】（予算額 356,151,000円）

⑩ みえ森と緑の県民税制度運営事業【決算額 - 円】（予算額 10,000,000円）

※二重線の囲みの単位で、「令和 2 年度みえ森と緑の県民税基金事業・事業別評価シート」を作成しています。

②：災害に強い森林づくり推進事業

担当課：治山林道課

基本方針：①災害に強い森林づくり

対策区分：①土砂や流木による被害を出さない森林づくり

1 事業の目的

近年の山地災害に見受けられる流木や土砂流出による被害を低減するため、浸食されやすい谷地形や脆弱な土壌等を立地環境とする溪流沿いの森林において、「流木の発生を抑制する」、「上流からの流木や土砂、土石流等の流下を緩衝する」、「山腹斜面からの倒木や土砂等の流入・流下を抑制する」といった災害緩衝機能を発揮する森林の整備を行います。

2 事業の必要性

近年、局地的な集中豪雨の増加に加え、手入れが行き届いていない森林の増加などにより、土石流発生時に溪流沿いの木を巻き込み流下し、流木となって人家や公共施設等への被害を拡大させるケースが増加しているため、引き続き、事業を継続して進めていく必要があります。

3 事業の内容

(1) 災害緩衝林整備事業

- ① 流木や土砂の流出による災害の発生の恐れのある溪流部において、流木となる恐れのある危険木を下流へ流れ出さなくするために危険木の伐採・搬出を行います。
- ② ①の溪岸部において、立木の大径化を促す調整伐、伐採木の撤去を行い、上流からの土砂の流下を緩和軽減させます。
- ③ ①、②の周辺山腹部において、溪流内に倒木や土砂が流れ出さなくするために立木の根系の発達を促す調整伐を行います。
- ④ 林業研究所において、上記取り組みの効果を明らかにするための調査・研究を行います。

(2) 土砂・流木緊急除去事業

治山施設等において、豪雨等によって流出し人家等に被害を与える恐れのある異常に堆積した流木や土砂等の撤去を行います。

令和2年度 災害に強い森林づくり推進事業実施予定箇所一覧表

1. 災害緩衝林整備事業

番号	箇所番号	調査箇所				危険木除去 (m)	緩衝林整備 (ha)	実施予定額 (千円)	備考
		市町	大字	字	災害危険地 番号				
1	四-1	鈴鹿市	西庄内町	池ノ谷	207-0011	200	5.34	6,240	
2	四-2	亀山市	加太向井	柚ノ木		320	5.68	7,819	
3	四-3	亀山市	加太梶ヶ坂	虻谷	210-1033	320	3.57	7,547	
4	津-1	津市	白山町福田山	附田	210-8012他	558	9.54	16,300	
5	津-2	津市	美杉町下之川	大谷		1,100	6.35	15,700	
6	津-3	津市	白山町小杉	樋ノ口	201-8017	440	4.88	13,560	
7	松-1	松阪市	小片野町	井口		240	1.25	7,550	
8	松-2	松阪市	後山町	下ノ古城		180	2.24	10,017	
9	松-3	松阪市	飯南町横野	長谷		180	2.16	11,085	
10	松-4	松阪市	飯南町上仁柿	平谷		251	3.16	14,000	
11	松-5	多気町	長谷	柿木谷		114	0.64	3,888	
12	松-6	多気町	神坂	門田	441-0005	180	0.18	9,937	
13	松-7	大台町	栗谷	大西谷		60	0.16	5,000	
14	松-8	大台町	唐櫃	横谷	443-1044	160	3.24	5,813	
15	伊-1	南伊勢町	伊勢路	セトダニ	472-0016	520	6.36	11,000	
16	伊-2	大紀町	大内山	今瀬谷	471-2027	240	5.76	8,000	
17	伊-3	大紀町	大内山	錦谷		620	7.51	10,000	
18	上-1	伊賀市	上阿波	奥那須ヶ原	216-439	680	6.15	10,500	
19	上-2	伊賀市	奥馬野	下馬野	216-425	100	2.50	5,000	
20	上-3	伊賀市	島ヶ原	観節	216-203	332	13.35	11,900	
21	上-4	伊賀市	高尾	奥出		313	10.51	10,000	
22	尾-1	尾鷲市	早田町	矢瀬	209-0023	363	1.04	6,000	
23	尾-2	紀北町	島原	柚原	543-1049	316	2.25	10,000	
24	尾-3	尾鷲市	南浦	小原野奥石谷		320	5.07	7,000	
25	尾-4	尾鷲市	三木里町	定山		99	1.63	5,000	
26	熊-1	熊野市	井戸町	鷺ノ谷		650	1.74	5,720	
27	熊-2	熊野市	紀和町矢ノ川	後地		670	6.20	16,400	
28	熊-3	紀宝町	高岡	蛇崩		130	4.04	5,900	
29	熊-4	紀宝町	鮎田	茶木原	562-1007	840	8.40	14,400	
計	29箇所	13市町				10,496	130.90	271,276	

2. 土砂・流木緊急除去事業

番号	箇所番号	調査箇所				土砂撤去 (m3)	流木撤去 (m3)	実施予定額 (千円)	備考
		市町	大字	字	災害危険地 番号				
1	松-1	松阪市	飯高町舟戸	大崩	204-3122	1,597.0		12,000	
2	松-2	大台町	桧原	東又谷	443-1113	3,000.0		21,038	
3	上-1	名張市	青蓮寺	青蓮寺山			88.0	6,900	
4	尾-1	紀北町	島勝浦	中熊	543-2088	88.0		1,900	
計	4箇所	4市町				4,685.0	88.0	41,838	

③：森林情報基盤整備事業

担当課：森林・林業経営課

基本方針：① 災害に強い森林づくり

対策区分：① 土砂や流木による被害を出さない森林づくり

1 事業の目的

航空レーザ測量を実施して、詳細な森林資源情報を把握することで、効率的な森林管理を促進するとともに、精度の高い 3 次元地形データを取得して、災害発生危険性の高い地域等を客観的に把握することで、災害に強い森林づくりを効果的に進めます。

また、航空レーザ測量によって把握できる尾根、谷等の詳細な地形や林相界等の情報を森林クラウドにより市町と共有することで、市町による森林の適正な管理の実行につなげます。

2 事業の必要性

緊急に整備が必要な森林や、山地災害や流木被害の発生恐れのある森林を効率的に把握し、災害に強い森林づくりを着実に進めるためには、航空レーザ測量を実施して、樹種、樹高、立木密度、材積等の詳細な森林資源情報や、尾根、谷等の精度の高い微細な地形情報等を効果的に取得する必要があります。

また、所有者の関心の低い森林や、境界が不明な森林等において、手つかずの状態になることを防止するため、森林境界の明確化につながる情報の把握に努める必要があります。

3 事業の内容

航空レーザ計測の実施によるデータ取得と森林資源解析により、早急に整備が必要な森林の抽出等を行います。

(1) 航空レーザ計測 ※レーザ照射点密度 4 点/m²

・三次元計測データ、グリッドデータ、写真地図データ、等高線データ等を作成

(2) 森林資源解析

・林相区分データ作成

・単木解析（樹木本数、単木毎の位置、樹高、樹冠幅、樹冠長、胸高直径、材積等の把握）

・林分解析（平均胸高直径、平均樹冠長、総材積、平均形状比、平均樹高、立木本数密度、収量比数、相対幹距比等の算出）

(3) 成果品：森林GISの主題図として、傾斜区分図、立体地形表現図、森林資源解析図を作成

・詳細な森林資源情報を把握して効率的な森林管理を促進するとともに、災害発生の危険性の高い地域等を客観的に把握し、災害に強い森林づくりを進めるため、航空レーザ測量を実施します。

○航空レーザ計測 ※レーザ照射点密度：4点/m²

・クラウドデータ、グリッドデータから等高線データを作成し、傾斜区分図、立体地形表現図を作成

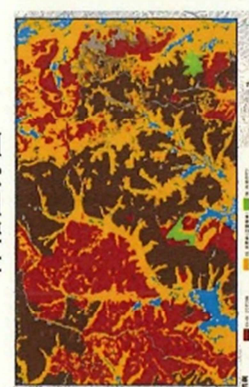
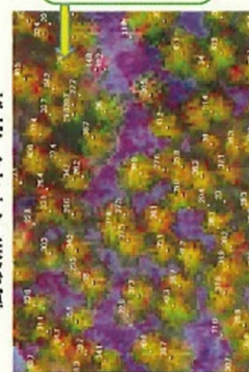
○森林資源解析

＜解析業務の内容＞

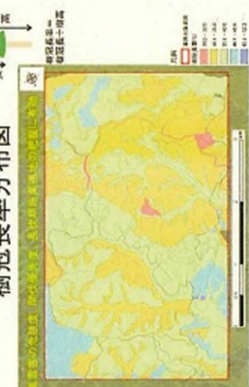
- ①林相区分図の作成(スギ、ヒノキ、マツ、その他針葉樹、広葉樹、竹林、伐採跡地に区分)
- ②単木解析(樹木本数、単木毎の位置、樹高、樹冠幅、樹冠長、胸高直径、材積等の把握)
- ③林分解析(平均胸高直径、平均樹冠長、総材積、平均形状比、平均樹高、立木本数密度、収量比数、相対幹距比等の算出)を行い、単木解析結果を面的に把握
- ④これらの森林資源情報を10mメッシュの林分レベルでとりまとめ、森林GISの属性情報として整備
- ⑤森林GISにより抽出、表示を行うことで、整備を優先的に実施すべき林分を把握
- ⑥レーザ計測で得られる詳細な微地形情報により、表面浸食や流木発生等が懸念される箇所等を抽出

微地形表現地図(赤色立体地図)

樹頂点(単木)解析



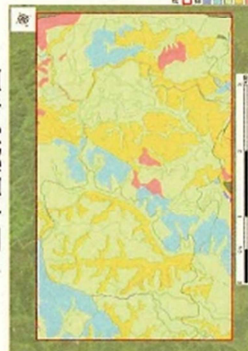
樹冠長率分布図



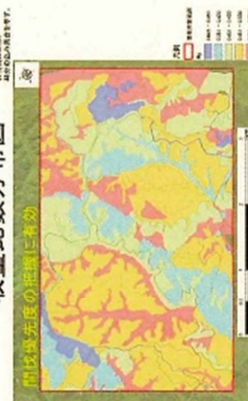
形状比分布図



立木密度分布図



収量比数分布図



計画作成



④－ア：森を育む人づくりサポート体制整備事業

担当課：森林・林業経営課

基本方針：②県民全体で森林を支える社会づくり

対策区分：③森を育む人づくり

1 事業の目的

みえ森と緑の県民税市町交付金事業等により学校や地域で実施される森林環境教育や木育、森づくり活動にかかる相談窓口となる「みえ森づくりサポートセンター」を運営し、指導者育成を行うほか、広域的・総合的なサポートを行います。

2 事業の必要性

市町単位での取組が困難な森林環境教育・木育指導者の養成や、活動プログラムの提供、森づくり活動の支援などについて、県で取り組んでいく必要があります。さらに、みえ森づくりサポートセンターが情報集約し、森林環境教育・木育、森づくり活動に取り組もうとする市町や学校、県民のさまざまなニーズに応じた情報を提供することで、森林環境教育・木育、森づくり活動の新たな取組の進展が期待されます。

3 事業の内容

・みえ森づくりサポートセンターの運営

森林環境教育や木育、森づくり活動にかかる総合窓口となる「森づくりサポートセンター」を運営し、森林環境教育・木育指導者の育成を行うほか、きめ細かい各種対応など、広域的・総合的なサポートを行います。

・森林環境教育・木育体制整備

県内における森林環境教育・木育の活動発表の場として、また県民のみなさんに木に触れ、木に親しむ機会を設けることを目的に「みえ子ども森の学びサミット」などを開催します。また、県内の小学5年生を対象に、森林環境教育・木育副読本「三重の森林とわたしたちの暮らし」を発行します。

表1 令和2年度森林環境教育指導者養成・森のせんせいスキルアップ講座 開催計画・実績

分類	講座名	内容など	対象者	募集人数	受講人数	講師	講座開催場所	開催時期
森 林 環 境 教 育	地域講座(四日市地域) 森林環境教育指導者養成講座 (アクティブラーニング編)	森林環境教育や木育を教育現場や地域で実施したいという意欲向上と基礎的な知識の習得。その中でもアクティブラーニングの手法について学び、理解して実際の活動にとり入れられるようにするための講座	教員、保育士、指導者、市町職員、指導者になる者	15		(一社)SDGsコミュニティ代表理事 新海洋子氏	三重県四日市庁舎 会議室	令和2年 上半期
	地域講座(津地域)	森林環境教育や木育を教育現場や地域で実施したいという意欲向上と基礎的な知識の習得	教員、保育士、指導者、市町職員、指導者になる者	10		大学教員、森のせんせい等	三重県林業研究所	令和2年 8月初旬
	地域講座(松阪地域) 森林環境教育指導者養成講座(知識編)	基本的な知識の習得 ①講話「森林の多面的機能について」 ②見学とディスカッション「森林への気付きや疑問に関すること」	教員、保育士、指導者、市町職員、指導者になる者	10		三重大学 沼本晋也准教授	飯高方面	令和2年 6月か 令和3年2月
	地域講座(伊勢志摩地域) 森林環境教育指導者養成講座(技術編)	インタープリター養成研修 伝える(解説する)技術(インタープリテーション)の習得 今回は特に伊勢地域の魅力を引き出せるインタープリターを目指す 三重県環境学習情報センターと共催	教員、保育士、指導者、市町職員、指導者になる者	10		三重県環境学習情報センター 木村京子副センター長	皇學館大学	令和2年 上半期
	地域講座(伊勢志摩地域) 森林環境教育指導者養成講座(自然遊び編)	自然物を使ってどのような遊びができ、どのように子ども達に伝えるか、その手法を学ぶ 今回は田丸城跡を活用し、田丸城の森のスペシャリストになることを目指す。春と秋の2部構成	教員、保育士、指導者、市町職員、指導者になる者	20		森のせんせい 藤川和彦氏	田丸城跡、玉城町立田丸保育園	令和2年 5月30日(土)、 9月～10月
	地域講座(伊勢志摩地域) 三重県の木育指導者養成講座(初級編)	森林環境教育や木育を教育現場や地域で実施したいという意欲向上と基礎的な知識の習得 三重県の木育指導者を養成するための基礎講座	教員、保育士、指導者、市町職員、指導者になる者	20		木育インストラクター講師 長谷川 彰氏	上野森林公園大山田中公民館	令和2年 7月下旬
	地域講座(尾鷲・熊野地域) クワッ普及指導員養成講習会	森林環境教育や木育を教育現場や地域で実施したいという意欲向上と基礎的な知識の習得 講座教材のクワッを用いてクワッというスポーツと木育を学び、普及できることを目指す 尾鷲市・尾鷲市クワッ協会と共催	教員、保育士、指導者、市町職員、指導者になる者	40		日本クワッ協会 高橋伸	熊野古道センター	令和2年 8月下旬
	森のせんせいスキルアップ講座	LEAFローカルインストラクター研修 (コーディネーター育成研修) 森林環境教育プログラムの体験を通じ、企画手法を学習	森のせんせい	10		NPO法人FEE Japan	(公財)亀山市地域社会振興会 青少年研修センター	令和2年 7～8月頃
	森のせんせいスキルアップ講座 (幼児を対象としたインタープリテーション編)	森林環境教育コミュニケーション能力向上研修 インタープリターとしてのコミュニケーション能力の習得 昨年度に続き、幼児環境教育の理解とインタープリテーションとは何かを理論と実践で学ぶ	森のせんせい	20		(公財)キープ協会	三重大学東紀州サテライト 東紀州産業振興学舎「天満荘」 座学、 野外実習	令和2年 9月半ば
	森のせんせいスキルアップ講座 (木育指導者中級研修)	木育インストラクターとして、より幅広い知識と技術を習得	森のせんせい	10		木育インストラクター講師 長谷川 彰氏	三重県民の森	令和2年 7～8月頃
森 林 環 境 教 育 普 及 ・ 啓 発	学校教職員 森林環境教育研修	学校教職員テーマ研修(県教育委員会研修センター) 授業での実践方法の習得 座学:「持続可能な環境づくり～学校で取り組むESD～」 実習:「子どもたちと簡単にできる校庭の木の調べ方」	学校教職員 他	20		三重大学 平山准教授	三重大学教育学部201教室	令和2年 7月31日(金)
	こども森の写真教室	写真撮影を通して森林環境教育 森林への興味関心の高揚	県内小・中学生 ※小学生は保護者同伴	15組 30人		写真家 松原 豊氏	レクチャー:「森の写真」の撮り方 撮影会: 鈴鹿青少年の森	令和2年 8月1日(土)
	第7回みえの森フォトコンテスト	写真撮影を通して森林環境教育 森林への興味関心の高揚	県内の 小学生以下の 中学生以上の 組	—		写真家 松原 豊氏 三重大学 平山准教授	表彰式 みえ子ども森の学びサミット会場 松阪市立野町1291 みえこどもの城?	令和2年 12月上旬?

④－イ：森林環境教育・木育拠点整備事業

担当課：森林・林業経営課

基本方針：②県民全体で森林を支える社会づくり

対策区分：④森と人をつなぐ学びの場づくり

1 事業の目的

県内における森林環境教育・木育の環をこれまで以上に拡大することを目的に、「森と人をつなぐ学びの場づくり」に取り組みます。

2 事業の必要性

地域の特性や学校等の実情に応じて、森林環境教育・木育を県内全域で進める必要があること、取組の一層の周知を図る必要があることが県民税の見直しにおける課題として挙げられており、より一層、地域に密着した活動を行うことが求められています。また、県内各地で開催している木育イベント「ミエトイ・キャラバン」の来場者からは、木製遊具・玩具を体験できる場の常時設置の声が多く挙がっています。

3 事業の内容

三重県民の森の既存施設を対象に、周辺の森林等を活かした安全な森林環境教育フィールドの設置と、常設型の木育体験施設を整備します。

（令和３年度中にオープン予定）

【事業計画】

年度	予算額（千円）	内容
令和２年度	44,000	建築工事、電機工事
令和３年度	22,000（見込み）	空調等機械設備工事

各zoneのコンセプト

対象年齢	コンセプト	イメージ	必要な整備
木育 ステーション	乳幼児が 安心 して 楽しみ ながら 木に触れ、木を使って 木のぬくもりや質感を 体感 する	明るい 心地よい空間 地域の自然とつなが る	明るい照明 窓から明かりが入る 空調 外の森が見える 地域（県産）の木材を使う
Feeling Zone	木のぬくもりや質感を 五感で 感じる	安全 床に座る 衛生面 一人遊び 保護者同伴	転んでも痛くない床 素足で上がるスペース 角の取れた構造 保護者もくつろげる 掃除しやすい（汚れにくい）
Play Zone	体と頭を使って木のお もちゃで思いっきり 遊ぶ	安全 立って遊ぶ のびのびできる 同年代との社会性	角が取れた構造 幼児サイズの遊具 目線に突起物が無い グルーブ遊びができる遊具 動ける空間（広さ）
Learning zone	木が育つ森や地域の自 然について 学び ・考える	見本・標本から学ぶ 読む・観察する 他人から学ぶ	今ある標本・見本の活用 管理者の工夫で展示の模様替え可 能な可動性のある展示スペース 壁も展示スペースとして利用 専門スタッフから学べる環境
そして森へ	森の中に入って、本物 の自然の姿を知り、 体験 する。	本物を体感	三重県民の森野外フィールドの活 用

④－ウ：森林とふれあう自然公園環境整備事業

担当課：みどり共生推進課

基本方針：②県民全体で森林を支える社会づくり

対策区分：⑤地域に身近な水や緑の環境づくり

1 事業の目的

本事業では、県民が森林や緑と親しむ機会を創生するため、県内の市町に跨って広域的に配置されている自然公園の園地や東海・近畿自然歩道、大杉谷登山道等を活用して、地域のNPOや団体、市町等と連携して実施する森林環境教育イベントやガイドツアー等の取り組みを推進します。

このため、イベント等の企画・運営や自然公園の保全・利用の啓発等を実施するとともに、活動のフィールドとなる自然公園の園地や東海・近畿自然歩道、大杉谷登山歩道等の施設の安全確認や改修などを行い、県民全体で森林を支える社会づくりを推進します。

2 事業の必要性

近年は、自然体験に対するニーズが高まっており、県民が地域の自然と触れ合いながら知識や理解を深めることのできる森林環境教育の場を早急に構築する必要があります。

しかしながら、森林環境教育イベントやガイドツアーで活用する自然公園の園地や東海・近畿自然歩道、大杉谷登山道等は、設置してから30年以上を経て老朽化による転落防止柵や歩道等の損傷が進んでいることから、利用者が安全・安心に利用するためには、施設の再整備を進める必要があります。

3 事業の内容

多くの県民が森林や緑と親しめるよう、地域のNPOや団体、市町等と連携し自然公園の園地や東海・近畿自然歩道、大杉谷登山歩道等を活用して実施する森林環境教育イベントやガイドツアー等により森林環境教育を行います。

また、そのフィールドとなる自然公園の園地や自然歩道等において、活用される施設の安全確認・点検を行い、安全・安心に利用できるようにサイン標識や説明看板の設置、歩道の階段や転落防止柵等の改修などを行います。



ガイドツアー状況



参加者による施設整備状況

⑤：生物多様性推進事業

担当課：みどり共生推進課

基本方針：②県民全体で森林を支える社会づくり

対策区分：⑤地域の身近な水や緑の環境づくり

1 事業の目的

県民全体で森林を支える社会づくりを進めるため、自然環境保全活動に取り組む団体を増やし、また、県民・事業者・行政などの様々な主体による自然環境保全活動や生物多様性の重要性に関する普及啓発に取り組むなど、生態系ネットワークの形成を促進し、森林生態系などの生物多様性の保全を図り、地域の身近な水や緑の環境づくりを進めます。

2 事業の必要性

県では、これまで、地域の特性を踏まえた生物多様性の保全を進めるための地域戦略である「みえ生物多様性推進プラン」の取組方針に沿って、生物多様性に関する理解の促進を図るとともに、県民による地域の自然を守る保全活動など、地域と連携した取組を進めてきました。

その結果、自然環境の保全に取り組む活動団体数や希少種等の保全活動実施数が増加するなど、一定の成果が得られました。

一方で、近年、大規模な自然地の開発が増加しているほか、農山村地域での人口減少や高齢化による管理不足の里山等の増加、アライグマ等の外来生物の増加など、野生生物の置かれている現況は依然として厳しい状況にあります。

このため、県民等による森林生態系などの生物多様性の保全に関する取組を更に進め、生態系ネットワークの形成を促進する必要があります。

3 事業の内容

自然環境保全活動団体の持続的な活動を支援するため、団体の活動状況を調査するとともに、団体の活動に対して、必要に応じてアドバイザーの派遣等を行い、持続的な活動を促進します。

また、開発と自然環境との調和を図るため、自然環境保全上重要な地域について明確化するとともに、生物多様性推進施策に必要な情報を収集し、広く県民や事業者等へ情報提供することにより、森林環境教育の推進や生物多様性の保全に取り組めます。

⑥：みえ子ども森林・林業アカデミー自然体験事業

担当課：森林・林業経営課

基本方針：②県民全体で森林を支える社会づくり

対策区分：③森を育む人づくり

1 事業の目的

本事業では、子どもたちの健全な心身の育成と森林・林業に関する職業意識の醸成を図るとともに、令和元年度に作成した「みえ子ども森林・林業アカデミー自然体験事業（以下、自然環境キャンプという。）のプログラムを検証するため、県内各地において、プログラムに基づく自然環境キャンプを実施します。

2 事業の必要性

県民全体で森林を支える社会づくりを進めていくためには、森林環境教育を通じて子どもの頃から森に親しみ、森林と人々の生活や環境との関係について深い理解・関心を持つ県民を育てていく必要があります。

地域の自然に触れる機会が減少傾向にある中、未来を担っていく世代の子どもたちが、県内の数々の豊かな森林や自然体験の施設をフィールドとして、友達と一緒に野外活動を行って主体的に学ぶ機会を持つことは、子どもたちの健全な身体・心身の育成のみならず、将来、森林・林業などの第一次産業に就業する人づくりの取組としても重要です。

3 事業の内容

令和元年度には、県内にある自然体験の施設や指導者等を連携し、森林をフィールドとして子どもたちが友達と一緒に遊びながら主体的に学ぶ新たなプログラムを作成するため、自然環境キャンプを試行的に実施しました。

令和2年度は、新たに作成したプログラムに基づく自然環境キャンプへの参加事業者を募り、モニターを6回実施するとともに、プログラムの検証を行うための協議会の設置・運営を行います。



⑦－ア：流域防災機能強化対策事業【市町交付金（連携枠）事業】**担当課：みどり共生推進課****基本方針：①災害に強い森林づくり****対策区分：①土砂や流木による被害を出さない森林づくり****1 事業の目的**

山腹崩壊の発生源となる斜面上部の 0 次谷の凹地形周辺や、土壌浸食のおそれがある溪流沿いの森林において、根系や下層植生の発達を促す森林整備を実施し、流域の防災機能の強化を図ります。

2 事業の必要性

県では、「みえ森と緑の県民税」を活用し、流木や土砂流出の発生の恐れのある崩壊土砂流出危険地区（以下「危険地」という。）において、溪流内の危険木の除去のほか、溪流沿いの一定幅の立木を伐採・搬出し、流木や土砂の流出を抑制するための森林整備（災害緩衝林整備事業）等に取り組んできました。

こうした中、災害緩衝林整備事業による整備区域と隣接し、一体的に整備を行うことでより効果を発揮できる森林や、危険地以外にも対策が必要な森林が多数存在していることから、整備の対象を拡大し、土砂や流木による被害を出さない森林づくりを面的に進めていくことが必要です。

3 事業の内容

流域における防災機能を強化するため、土砂流出の危険性が高く、早急な整備が必要とされる箇所の森林整備に市町と県が連携して取り組むものとします。

具体的には、人家等の保全対象から概ね 2 km 以内の溪流沿いの森林であって、適正な管理がされておらず、流木や土砂の流出により下流に被害を及ぼす恐れがあり、次のいずれかに該当する森林を対象に、市町が、森林所有者と当該森林の管理及び施業方法等について定めた協定を締結したうえで、間伐等の森林整備を実施します。

（1）間伐等（災害緩衝林一体型）

みえ森と緑の県民税を活用して県が実施する災害緩衝林整備事業の整備範囲の森林と一体的に整備することで、防災機能をより強化することができる森林

（2）間伐等（環境林・特定水源地域）

県ゾーニングが環境林、又は三重県水源地域の保全に関する条例に規定する特定水源地域として指定されている森林

※本事業により森林整備を実施した箇所を含む小流域（保全対象から概ね 2 km 以内の溪流沿いの範囲）で新たな森林整備を行う場合、森林環境譲与税は活用しないものとします。

⑦－イ：森林再生力強化対策事業【市町交付金（連携枠）事業】

担当課：みどり共生推進課

基本方針：①災害に強い森林づくり

対策区分：①土砂や流木による被害を出さない森林づくり

1 事業の目的

森林所有者等が行う新植地等への獣害防止施設等の整備や市町が行うＩＣＴ等の新たな技術を用いたニホンジカの捕獲等を支援し、森林が有する土砂流出防止等の公益的機能の高度発揮を図ります。

2 事業の必要性

県内の森林においては、ニホンジカが高い密度（14.6 頭／km²）で生息していることから、食害による更新の阻害が発生しており、森林の有する土砂流出防止等の公益的機能の低下が懸念されています。

こうした中、新植地等の確実な更新を図り、「木を植え、育て、収穫し、また植える」という緑の循環のサイクルを実現していくため、ニホンジカの侵入を許さない獣害防止施設等を整備するとともに、捕獲により個体数を減少させ、生息密度を適正な範囲に誘導していくことが必要です。

3 事業の内容

（１）獣害防止施設等整備

森林所有者等が、市町村森林整備計画において指定された鳥獣害防止森林区域内で、健全な森林の造成・保全を目的として行う野生獣による森林被害の防止、野生獣の移動の制御等を図るための獣害防止施設等の整備に対して市町が支援します。

（ア）植栽タイプ

伐採跡地等において、植栽とあわせて行う獣害防止施設等の整備

（イ）天然更新・更新補助タイプ

（ア）の事業区域と隣接し、林業経営に適さないことから天然更新等を図る伐採跡地等において行う獣害防止施設等の整備

（ウ）獣害防止施設等補修

豪雨等で破損した既設の獣害防止施設等の補修

（２）ニホンジカの捕獲等

市町が、市町村森林整備計画において指定された鳥獣害防止森林区域内において、ニホンジカの生息密度を適正な範囲に誘導していくため、獣害防止施設等の整備箇所周辺で、ＩＣＴ等の新たな技術を用いた捕獲をモデル的に実施し、効果検証に取り組みます。

※市町長は、森林所有者等から、獣害防止施設等の点検結果及び更新状況等の確認結果について報告を受けるものとし、県と市町、森林所有者等が連携して、事業実施箇所の森林再生状況を確認しながら、災害に強い森林づくりを進めます。

令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業(連携枠)計画一覧

市町	流域防災機能強化対策事業	森林再生力強化対策事業 (獣害防止施設等整備)	森林再生力強化対策事業 (ニホンジカの捕獲等)
	事業量	事業量	事業量
津市	77.14 ha	11,200 m	
松阪市	4.00 ha	12,000 m	
多気町	5.00 ha		
大台町	143.62 ha	8,218 m	
度会町	27.00 ha		
大紀町	15.00 ha	1,000 m	
志摩市	9.61 ha		
南伊勢町	2.00 ha		
伊賀市	44.00 ha		7 基
名張市	30.00 ha		
尾鷲市	25.00 ha	900 m	
紀北町	30.00 ha	6,580 m	
熊野市	22.06 ha	2,690 m	
紀宝町	22.00 ha		
計	456.43 ha	42,588 m	7 基

⑧：災害からライフラインを守る事前伐採事業

【市町交付金（防災枠）事業】

担当課：みどり共生推進課

基本方針：①災害に強い森林づくり

対策区分：②暮らしに身近な森林づくり

1 事業の目的

台風などの倒木被害により電線等のライフラインを寸断する恐れのある危険木の事前伐採に、電力会社等のライフライン事業者と連携して取り組む市町を支援し、台風等に伴う大規模停電の未然防止などのライフラインの保全を図ります。

2 事業の必要性

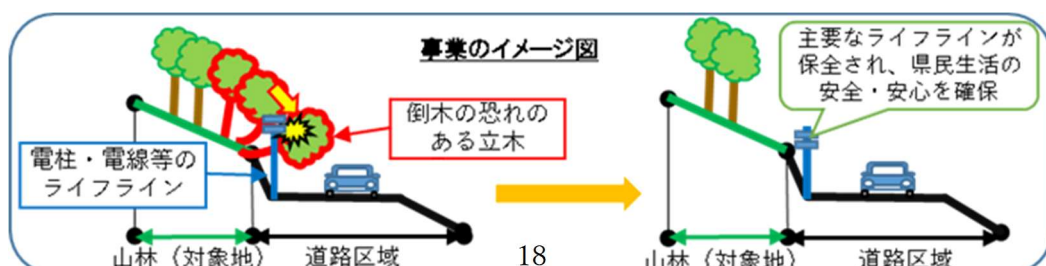
令和元年の台風 15 号では、千葉県を中心に大規模かつ長期的な停電が発生し、住民生活や地域の経済活動が滞ったうえ、市町の防災システムが機能しない等の甚大な被害が発生しました。また、三重県内においても、平成 30 年の台風 21 号では約 28 万戸で停電被害が発生し、特に山間部では、停電の原因の約 80%は倒木によるものでした。

このような被害を未然に防ぎ、県民の安全・安心な暮らしを守るため、災害に強い森林づくりの一環として、市町や電気事業者等のライフライン事業者と連携して、「災害からライフラインを守る事前伐採事業」に取り組む必要があります。

3 事業の内容

停電等のライフラインへの被害を未然に防ぎ、県民の安全・安心な暮らしを守るため、ライフライン事業者と連携して、台風などの倒木によりライフラインを寸断してしまう恐れのある樹木の事前伐採に取り組む市町に対して、県が事業費の一部を負担するなどの支援を行います。

事業の実施にあたっては、市町・県・ライフライン事業者の三者で、相互の連携による事業の円滑な実施を目的とした協定を締結することとしています。また、この協定に基づき、三者が構成員となった協議会を設置し、市町が作成する事業計画についての協議や他事業との調整などを行い、事業を進めていきます。



⑨：みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業

担当課：みどり共生推進課

基本方針：①災害に強い森林づくり ②県民全体で森林を支える社会づくり

対策区分：5つの対策全て

1 事業の目的

森林行政の第一線にあり、森林所有者や事業者、森林づくりに取り組む団体等と主体的に接点を持ちながらパートナーシップを築き、地域の森林づくりのリード役となる市町が、市町交付金を活用することで、地域の実情に応じて創意工夫して森林づくりの施策を展開します。

2 事業の必要性

地域の実情に応じてきめ細かに対応し、住民と直接的な関係が見込まれる取組を進められる主体は市町以外にはなく、これまで、市町交付金を活用して創意工夫した様々な事業が実施され、「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで大きく貢献していることを考慮すると、市町が創意工夫して森林づくりの施策を展開するための交付金の交付を継続する必要があります。

3 事業の内容

一市町あたり 500 万円の均等配分に加えて、森林面積や人口を算定基礎として算定する「基本枠交付金」と、平成 30 年 2 月刊行森林・林業統計書に記載されている森林面積が 100ha 未満または森林率が 10%未満である市町からの事業計画申請に基づいて「加算枠交付金」を交付します。加算枠交付金の令和 5 年度までの累計申請上限額は、1,000 万円とします。

交付の対象とする事業は、事業実施の 3 原則を満たしたうえで、2つの基本方針及び5つの対策に沿った事業としますが、森林環境譲与税と同一の事業には充当できません。また、次の見直しまでの期間に市町交付金事業の財源に充てるための基金の積立も交付の対象とします。



令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 対策区分別一覧

みえ森と緑の県民税 対策区分1：土砂や流木による被害を出さない森林づくり				
市町名	市町事業名	活用額	基金活用額	事業内容
玉城町	みえ森と緑の県民税交付金事業 森林防災（計画伐採）事業	752,000		町による、防災・減災のための土砂や流木の除去と森林整備
度会町	流倒木撤去事業	5,000,000		町による、河川沿いの流倒木の伐採・撤去
大紀町	渓流倒木等処理事業	4,000,000		町による、 山間部渓流沿い等の倒木や流木の除去
紀北町	河川周辺森林立枯木整備事業	6,634,000	5,500,000	町による、河川沿いの枯損木の伐採撤去
対策区分計		16,386,000	5,500,000	4町 4事業

みえ森と緑の県民税 対策区分2：暮らしに身近な森林づくり				
市町名	市町事業名	活用額	基金活用額	事業内容
四日市市	常盤中学校学校林整備事業 （危険木除去）	1,495,000		市による、学校林における危険木の伐採等
四日市市	里山・竹林環境保全支援事業	2,000,000		活動団体による、里山や竹林の整備に対する支援
四日市市	危険木等除去支援事業	1,000,000		自治会等による、通学路沿いの危険木の伐採等に対する支援
四日市市	災害からライフラインを守る 事前伐採事業	1,000,000		市による、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採
桑名市	里山再生・竹林整備推進事業	4,500,000		活動団体による、竹林整備に対する支援と、市が活動団体に貸し出す竹チッパーの購入
鈴鹿市	暮らしを守る森林保全事業	1,001,000		市による、海岸林や人家周辺の病害虫被害木の伐採と樹幹注入、及び地元小中学生による植栽
鈴鹿市	病害虫被害木特別伐倒支援事業	200,000		地区保全森林内の個人または団体が行う、病害虫被害木の適正管理への支援
亀山市	集落周辺の森林整備事業 （危険木等伐採）	7,687,000		市による、公共施設周辺や道路沿いの危険木の伐採等
いなべ市	危険木の除去事業	3,000,000		自治体による、人家裏や通学路沿いの危険木の伐採等への支援
東員町	みえ森と緑の県民税市町交付金事業 （危険木伐採等事業）	1,462,000		町による、人家裏や通学路沿いの危険木の伐採等
菰野町	病害虫被害木伐採搬出事業	1,600,000		土地所有者等による、病害虫による被害木の伐採等への支援
菰野町	災害からライフラインを守る 事前伐採事業	400,000		町による、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採
津市	津市林地残材搬出促進事業	28,170,000		事業体による、木質バイオマス利用のための未利用間伐材搬出に対する支援
松阪市	里山の 森林安全安心対策事業	13,649,000		市による、集落や公共施設周辺の危険木の伐採等
松阪市	災害からライフラインを守る 事前伐採事業	3,000,000		市による、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採
明和町	松林整備事業	1,000,000		町による、海岸沿いの松林における病害虫被害木の伐採等
大台町	災害からライフラインを守る 事前伐採事業	3,250,000		町による、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採

みえ森と緑の県民税 対策区分2：暮らしに身近な森林づくり				
市町名	市町事業名	活用額	基金活用額	事業内容
大台町	集落周辺等危険木伐採事業	7,983,000		町による、集落周辺や人家裏の危険木の伐採
伊勢市	森林整備事業	5,184,000		市による、海岸沿いの松林における病害虫被害木の伐採、地上散布、樹幹注入等
鳥羽市	危険木伐採業務	8,183,000		市による、人家裏や通学路等に隣接する危険木の伐採又は剪定
志摩市	災害に強い森林づくり事業	3,684,000		市による、人家裏や道路沿いの危険木の伐採
志摩市	松くい防除事業	266,000		市による、松林公園や景勝地の松枯れの蔓延を防ぐための被害木伐採
度会町	危険木伐採事業	3,000,000		町による、生活道路沿いの危険木の除去
大紀町	生活環境林整備事業	4,000,000		町による、人家裏や通学路沿いの危険木の除去
南伊勢町	危険木伐採事業	2,457,000		町による、公共施設周辺や通学路、避難路等の危険木除去
名張市	危険木伐採事業	3,000,000		市による、公共施設周辺及び通学路等の危険木の撤去
名張市	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	1,300,000		搬出登録者による、木質バイオマス利用のための未利用間伐材の搬出運搬に対する支援
名張市	人家裏危険木伐採事業	1,500,000	781,576	地域住民による、人家裏の危険木の伐倒に対する支援
名張市	災害からライフラインを守る事前伐採事業	1,000,000		市による、倒木等によりライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採
伊賀市	みんなの里山整備活動推進事業	6,500,000		自治体等による、集落周辺の里山整備や竹林整備に対する支援
伊賀市	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	5,000,000		搬出登録者による、木質バイオマス利用のための未利用間伐材の搬出運搬に対する支援
伊賀市	災害からライフラインを守る事前伐採事業	0	1,000,000	市による、倒木等によりライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採
尾鷲市	人家裏危険木伐採事業	1,566,000		住民による、人家裏の危険木の伐採に対する支援
紀北町	危険木伐採事業	3,150,000		住民による、人家裏の危険木の伐採に対する支援
紀北町	集落周辺森林（里山）整備事業	250,000		活動団体による、集落周辺等の荒廃した森林の整備や登山道整備に対する支援
熊野市	森林病害虫等防除実施事業	1,063,000		市が保安林内において実施する、松くい虫防除のための伐倒駆除やくん蒸処理等
熊野市	身近なみどり整備推進事業	1,600,000		住民、森林所有者等による集落周辺の危険木撤去に対する支援
熊野市	暮らしを守る危険木伐採事業	1,434,000		市による、集落間を結ぶ生活道路沿いにおける危険木等の伐採除去
紀宝町	生活環境林整備事業	4,337,900		町による、公共施設の周辺や生活道路沿いの危険木等の伐採及び剪定
対策区分計		140,871,900	1,781,576	23市町、39事業

みえ森と緑の県民税 対策区分 3：森を育む人づくり				
市町名	市町事業名	活用額	基金活用額	事業内容
鈴鹿市	森林環境教育支援事業	100,000		活動団体による、県産材を使った木工体験への支援
鈴鹿市	緑に親しむ記念樹贈呈事業	220,000		市による、植木まつりでの記念樹配布とアンケート調査
鈴鹿市	森と緑の生涯学習事業	980,000		市による、公民館での「森と緑の生涯学習講座」の開催
亀山市	森と木材のふれあい事業 (森の講座)	500,000		市による、「森の講座」と「木育教室」の開催
亀山市	森と木材のふれあい事業 (森林づくり協議会)	1,000,000		鈴鹿川等源流の森林づくり協議会による、森林教育イベント等の開催への支援
いなべ市	中学校卒業記念品配布事業	899,250		市が中学卒業生へ配布する、市産材の箸の制作
いなべ市	森林環境教育支援事業	200,000		活動団体が小学校等で実施する、森林環境教育活動への支援
木曽岬町	森林環境教育事業	963,090		町教育委員会による、中学生を対象にした野外体験
朝日町	森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）	2,381,000		町による、竹を活用したイベントやワークショップの開催
川越町	川越中学校自然教室	921,000		町が川越中学校の1年生を対象に実施する野外体験
川越町	川越北小学校自然教室	706,000		町が川越北小学校の5年生を対象に実施する野外体験
川越町	川越南小学校自然教室	527,000		町が川越南小学校の5年生を対象に実施する野外体験
津市	津市森林環境教育事業	500,000		市による、「夏休み森と緑の親子塾」と「まるごと林業体験」の開催
津市	美里水源の森「林業体験」事業	250,000		地元協議会による、水源の森での林業体験への支援
松阪市	森林環境学習事業	2,900,000		市が小学校を対象に実施する、森林環境教育活動
松阪市	松阪の木魅力発信活動事業	300,000		地域団体による「松阪フェス木バル」開催への支援
大台町	森林環境教育事業	550,000		町が昇学園と連携して実施する、キノコ栽培の実践などの体験学習
伊勢市	豊かな心を育む「きらり☆体験活動」支援事業	1,226,000		市による、小学校における自然体験授業の実施
志摩市	森と緑ふれあい事業	1,514,000		市による、木工体験や森林にふれあう体験などの体験学習
玉城町	森林環境教育・木育事業	400,000		町による、森や緑について学び、森林や木材にふれあうことを目的とした木育教育
度会町	森林環境教育推進事業	200,000		町による、小学3年生を対象とした森林・林業に関する出前授業
南伊勢町	森林環境教育事業	180,000		町による、森や緑について学び、森林や木材にふれあうことを目的とした木育教育の実施
名張市	みて・さわって・森のわくわく体験事業	476,000		市が公立保育園及び幼稚園を対象に行う、森林公園内への木製備品導入と野外体験保育
名張市	森林環境教育推進事業	100,000		小学校の実行委員会による、学校における森林環境教育への支援

みえ森と緑の県民税 対策区分 3：森を育む人づくり				
市町名	市町事業名	活用額	基金活用額	事業内容
伊賀市	親子ではじめる木育推進事業	2,624,000		市による、出生児、一歳児、三歳児を対象にした、木製品等の配布
伊賀市	伊賀の森っこ育成推進事業	3,500,000		森林環境教育実行委員会による、小中学校における森林環境教育に対する支援
伊賀市	地域の森と緑のつながり支援事業	975,000		自治協議会による、森林関連研修等の開催と、森林関連イベント開催に対する支援
伊賀市	森のやすらぎ空間整備事業 (伊賀の木活用人材育成)	700,000		事業体が高校生と連携して行う、地域材を活用した木製品開発への補助
尾鷲市	“森の国”尾鷲の自然環境人材育成事業	2,375,000		市による、森林環境を理解する人材育成事業と小学校での森林学習会の実施
尾鷲市	クラブ普及推進事業	1,377,000		市による、クラブ競技の普及推進と合わせて行う木育事業
紀北町	森林環境教育活動支援事業	1,000,000		町が小学校等で行う、森林環境教育活動や木育活動
紀宝町	森と緑の環境教育事業	800,000		町教育委員会による、森や緑に関する講演会やワークショップ開催
対策区分計		31,344,340	0	19市町、32事業

みえ森と緑の県民税 対策区分 4：森と人をつなぐ学びの場づくり				
市町名	市町事業名	活用額	基金活用額	事業内容
四日市市	認定こども園備品整備事業	9,784,200		市による、認定こども園への木製備品（机・イス）の導入
四日市市	少年自然の家管理運営事業	5,792,600		市による、自然の家における木製備品（机・椅子等）の導入
四日市市	市民活動センター運営事業	937,200		市による、市民活動センターへの木製備品（机、イス等）の導入
鈴鹿市	小岐須溪谷山の家整備事業	3,064,000		市による、小岐須溪谷山の家の木質化
鈴鹿市	図書館木製備品購入及び森林環境啓発事業	4,500,000		市による、図書館への木製備品（机・椅子）の導入と講演会の開催
鈴鹿市	公立保育所及び公立幼稚園木製備品設置事業	6,848,000		市による、保育所や幼稚園の木製備品（棚、下駄箱、遊具等）の導入
亀山市	森と木材のふれあい事業 (木とふれあう)	1,455,000		市による、幼稚園や保育園等への木製遊具の導入
亀山市	森林環境教育・木育が行える場の整備	500,000		市による、森林公園やまびこの休憩施設や遊歩道のリニューアル
木曽岬町	社会福祉施設改修工事	4,385,910	4,493,852	町による、福祉施設多目的ホールの木質化
朝日町	森と緑とふれあう環境づくり事業（幼保一体化施設）	1,200,000		町による、県民税を活用して整備した子育て施設（あさひ園）の芝生の維持管理
朝日町	森と緑を大切に思う人づくり事業（幼保一体化施設）	40,000		町による、子育て施設（あさひ園）への木製遊具の導入
川越町	総合センター机・椅子等整備事業	3,063,000		町による、総合センターへの木製備品や木製玩具の導入
川越町	総合体育館荷物置き棚及び案内掲示板整備事業	238,000		町による、体育館への木製備品（棚、案内掲示板）の導入

みえ森と緑の県民税 対策区分4：森と人をつなぐ学びの場づくり				
市町名	市町事業名	活用額	基金活用額	事業内容
川越町	中央公民館木製司会台等整備事業	368,000		町による、中央公民館への木製備品（司会台等）の導入
松阪市	幼稚園木育推進事業	2,000,000		市による、幼稚園への木製備品の導入と木育絵本の読み聞かせ
多気町	木とふれあう環境づくり事業	5,010,000		町による、小学校や保育園への木製備品や木製玩具の導入
伊勢市	みなと小学校家具製作事業	1,000,000		市による、新築する小学校への木製備品（机・椅子・本棚）の導入
志摩市	観光農園整備事業	1,771,000		市による、公用施設への木製備品（ベンチとテーブル）の導入
玉城町	森林ふれあい創出事業	1,100,000		町による、公共施設への木製ベンチ等の設置
玉城町	公共施設（学び場）整備事業	3,962,000		町による、小学校の床の木質化と木製備品導入
名張市	県産材に親しむことができる木育推進事業	1,416,000		市による、公立保育園・公立幼稚園への県産材の机、椅子等の導入
名張市	森と人をつなぐ憩いの空間作り事業	1,000,000		市による、県産材を活用した授乳スペースの整備
名張市	学校林整備事業	400,000		活動団体による、学校林における遊歩道、広場等の整備への支援
尾鷲市	木とふれあう学校環境づくり事業	239,000		市による、市町交付金事業で導入した机・椅子の維持管理
御浜町	道の駅等木製看板設置事業	378,306	2,812,684	町による、道の駅への県産材の看板設置
御浜町	木製備品導入事業	1,000,000		民間事業者による、県産材什器を活用した木育活動への支援
御浜町	中央公民館木質化事業	3,310,494		町による、公民館への県産材を活用した木製品の導入
御浜町	熊野古道道標等設置事業	800,000	340,306	町による、熊野古道への県産材を活用した看板の設置
紀宝町	飛雪の滝キャンプ場木製備品購入事業	968,000		町による、芝生広場への木製遊具と木製のテーブル・椅子の導入
対策区分計		66,530,710	7,646,842	15市町、29事業

みえ森と緑の県民税 対策区分5：地域の身近な水や緑の環境づくり				
市町名	市町事業名	活用額	基金活用額	事業内容
桑名市	播磨2号緑地里山整備事業	430,000		市による、団体が実施する森林公園内の散策路整備等
いなべ市	森林・遊歩道整備事業	6,799,750		市による、梅林公園への遊歩道整備とその周辺の森林整備
菰野町	菰野富士ふるさとの山環境整備事業	6,769,000	4,447,000	町による、バリアフリー木道の整備
松阪市	都市公園整備事業	4,000,000		市による、都市公園内への木製東屋の設置
明和町	木質構造物整備事業	6,345,000		町による、公園への木製東屋2基の設置
大台町	森とのふれあい空間整備事業	1,750,000		町による、町有地の森林整備や歩道整備、木製ベンチの設置

みえ森と緑の県民税 対策区分 5：地域の身近な水や緑の環境づくり				
市町名	市町事業名	活用額	基金活用額	事業内容
伊勢市	みなと小学校整備事業	6,106,000		市による、新築小学校の校庭の緑化
志摩市	創造の森横山休憩所改修工事	3,088,000		市による、山小屋の改修に伴う木製備品（什器等）の導入
南伊勢町	阿曾浦公園ウッドチップ舗装整備事業	8,879,000		町による、公園へのウッドチップ舗装の実施
名張市	森林公園等環境活用整備事業	780,000		地域づくり組織による、公園等整備に対する支援
名張市	桜並木保全管理事業	300,000		地域住民による、桜並木保全活動の支援
尾鷲市	三木里地区憩いの場整備事業	1,200,000		市による、自然と安全にふれあえる環境づくり
尾鷲市	中村山公園整備事業	2,000,000		市による、中村山公園における森林整備の実施
熊野市	森とふれあいの場拠点づくり事業	3,525,000		市による、森や緑と触れ合える公園等の整備
熊野市	景勝林等保護事業	6,812,000		市による、天狗巣病の桜への処置
御浜町	森林公園等環境整備事業	1,586,200		町による、住民に親しまれている身近な登山道と隣接する公園の整備
紀宝町	クマノザクラ整備事業	330,000		町が活動団体と連携して行う、クマノザクラの植栽と適正管理
対策区分計		60,699,950	4,447,000	14市町、17事業

⑩：みえ森と緑の県民税制度運営事業

担当課：みどり共生推進課

基本方針：－

対策区分：－

1 事業の目的

本事業では、みえ森と緑の県民税の制度が円滑に運営されるよう、県民への周知や評価委員会の設置・運営等を行います。

2 事業の必要性

みえ森と緑の県民税の使途を明確にするため、第三者により、実施した事業について評価検証していただく必要があります。

また、使途や事業成果などを周知することにより、負担を通じて森林づくりへの参加意識が高まり、森林の持つ公益的機能や木材利用の意義についての理解が深まることが期待されるため、県民に広く周知する必要があります。

3 事業の内容

みえ森と緑の県民税評価委員会を開催し、毎年度、みえ森と緑の県民税を活用した事業について評価検証をしていただきます。

また、みえ森と緑の県民税の使途や事業成果等について、各種媒体を活用した広報活動を行います。



みえ森と緑の県民税評価委員会の開催状況

